

## 製品安全データシート

### (MSDS)

1. 化学物質等

および会社情報

会社名：プラス・テク株式会社

住 所：茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里 1 - 1

担当部門：環境安全・品質保証部

電話番号：0298-89-2882

FAX 番号：0298-89-2229

緊急連絡先：同上

作成：2001年10月18日

改訂： 年 月 日

製品名(化学名、商品名等)

EF005B4 (色調は下記に記載)

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：ポリ塩化ビニル樹脂、安定剤、可塑剤、充填剤等からなる混合物

化学名：ポリ塩化ビニルコンパウンド

官報公示整理番号(化審法、安衛法)：該当無し

CAS No.：該当無し

国連分類および国連番号：該当無し

PRTR / 安衛法該当物質

PRTR 法			労働安全衛生法			CAS No.
化学物質	含有量 (%)		化学物質	含有量 (%)		
色調：白、黒						
該当なし			該当なし			

3. 危険有害性の要約

分類の名称：分類基準に該当しない。

危険性：火炎やスパークによる火花等に接触することにより着火する可能性がある。

酸素指数(01)26.0 以下の場合には消防法指定可燃物(合成樹脂類)に該当する。

有害性 : 燃焼・熱分解により刺激性や有害性のある CO, CO<sub>2</sub>, HCl 等を発生することがある。

---

#### 4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに流水で洗浄する。症状に応じて眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に付いた場合 : 払い落とす。溶融樹脂が付着した場合、直ちに通常の火傷処置を行う。
- 吸入した場合 : 加工時に発生したガスにより体に変調をきたした場合、うがい等で口と喉を洗浄し、新鮮な空気中に移動し安静にする。必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 吐き出す。必要に応じて医師の診断を受ける。
- 

#### 5. 火災時の措置

消火方法 初期の火災には散水・炭酸ガス・乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には泡消火剤等を用いて空気を遮断する。尚、着火時には塩化水素ガス等を発生するので、消火作業および作業者は空気呼吸器を着用することが望ましい。

消火剤 水消火可能、一般消火器(炭酸ガス、泡ドライケミカル、乾燥砂等)使用可能。

---

#### 6. 漏出時の措置

- ・ 掃き寄せるか、真空掃除機で吸い取り、回収または廃棄用の適当な容器に回収する。
  - ・ ベレットが床に残ると滑る危険性があるので注意すること。
  - ・ 排水系、河川または海上への漏洩は海洋生物や鳥類等への影響が考えられるため、全量回収に努めること。
- 

#### 7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 加工工程で気化ガスが発生するので、排気装置設備のある場所で使用する。
- 保管 : 裸火、静電気、スパークによる火花等の着火源を避ける。高温・高湿な場所を避ける。
- 

#### 8. 暴露防止および保管措置

管理濃度:Pbとして0.1 mg/m<sup>3</sup>(1988年)

許容濃度

- ・ 日本産業衛生学会(1992年版) PbとしてTWA 0.1 mg/m<sup>3</sup>  
Sb 暫定値として 0.1 mg/m<sup>3</sup>

・ACGIH(1993年版)	PbとしてTWA	0.15 mg/m <sup>3</sup>
	SbとしてTWA	0.1 mg/m <sup>3</sup>

設備対策 加工場では局所排気装置を設置する

保護具 必要に応じて以下の保護具を使用する。

- ・呼吸保護具 マスク着用
- ・保護眼鏡 サイドシール付き安全眼鏡を着用
- ・保護手袋 着用
- ・保護衣 火傷予防用として着用

## 9. 物理的および化学的性質

外装等	: 粒状	PH およびその濃度	: 6~8
沸点	: 無	蒸気圧	: 無
揮発性	: 無	融点	: 無
比重または高比重	: 1.1~1.9(25 )		
初留点	: 無	分解温度	: 200 以上
溶解度 水	: 不溶		
その他	: 塩素系、エステル系、ケトン系溶剤などに可溶。		

## 10. 安全性および反応性

引火点	: 無	着火点	: 400 付近
可燃性	: 強火中では燃焼する。		
発火性(自然発火性・水との反応性)	: 無		
酸化性	: 無	粉塵性	: 無
自己反応性・爆発性	: 無		
安全性・反応性	: 1200 以下では安定な物質であるが、熱分解を起こすと塩化水素ガス等を発生する。		

## 11. 有害性情報(人についての症例、疫学情報を含む)

- ・皮膚腐食性:データおよび知見なし
- ・感作性:データおよび知見なし
- ・急性毒素:データおよび知見なし
- ・亜急性毒素:データおよび知見なし
- ・慢性毒素:データおよび知見なし
- ・がん原性 1 データおよび知見なし
- ・生殖毒素:データおよび知見なし
- ・催奇形性 1 データおよび知見なし
- ・刺激性(皮膚・眼):データおよび知見なし
- ・異変原性(微生物・染色体異常):データおよび知見なし
- ・その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む):データおよび知見なし

---

## 12. 環境影響情報

残留性・移動性:データおよび知見なし  
生体蓄積性:データおよび知見なし  
環境中での化学物質等の予測される挙動 /  
起こり得る環境影響 / 生態毒性 : データおよび知見なし

---

## 13. 廃棄上の注意

- ・ 廃棄処理業者に委託する。尚、廃棄については使用地域の関連法規制等を確認した上で実施すること。
- ・ 焼却する場合には排ガス処理装置付き焼却設備(850 以上)を使用のこと。

---

## 14. 輸送上の注意

- ・ 製品袋は転倒、落下、衝撃、引裂等の破損につながる粗暴な取扱いをしない。
- ・ 水濡れしないよう取り扱うこと。

---

## 15. 適用法令

消防法：指定可燃物(合成樹脂類)指定数量 3000kg  
廃棄物処理および清掃に関する法律 : 安定型 産業廃棄物  
労働安全衛生法:労安法第 57 条 2 項「通知物質」  
PRTR 法：特定化学物質

---

## 16. その他の情報(記載内容の取扱い)

- ・ 本件 MSDS は J1SZ7250 : 2000 に基づいて作成しております。
- ・ ここに記載されている内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成しておりこれらは新しい知見により、改訂されることがあります。
- ・ 記載内容はあくまで情報であり、安全性を十分に保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ ご使用者各位の責任において、安全な使用方法・条件を設定して下さるよう、お願いいたします。